



公益社団法人北海道柔道整復師会
附属北海道柔道整復専門学校同窓会

同窓会会報

第20号

発効日 令和2年4月1日

同窓会事務局

公益社団法人 北海道柔道整復師会
附属北海道柔道整復専門学校
〒060-0042 札幌市中央区大通西18丁目

電話 011 (642) 0731

FAX 011 (642) 8455

令和元年度 北柔専同窓会総会報告

平成31年4月21日(日) 10時より北整会館4階大講堂で北柔専校同窓会総会が開催されました。久保島直司庶務の司会で崎山博資副会長の開会挨拶の後、筒井寛幸同窓会会長とご来賓の石井詩都夫副校長のご挨拶をいただき開会しました。

議事は、筒井同窓会会長の司会により進行され、事業報告、会計報告、監査報告、更に事業報告案、会計予算案が示されいづれも承認されました。次に役員改選について諮られ、筒井会長の留任が承認されたことにより、すべての議題が承認されました。最後に佐々木辰雄副会長の閉会の辞をより閉会いたしました。その後、黒川泰任先生による特別講演会が開催されました。

平成30年度事業報告

平成30年

- 4月9日(日) 北柔専校入学式 会長・副会長出席
- 4月23日(日) 同窓会総会
- 4月23日(日) 特別講演会
- 7月27日(木) 役員会
- 7月15日(土) 北柔専校柔道大会壮行会 会長・副会長出席
- 11月15日(土) 役員会

平成31年

- 2月18日(日) 北柔専校卒業後教育講演会 会長・副会長出席
- 3月10日(土) 北柔専校卒業式 会長・副会長出席
- 3月12日(月) 三役会
- 3月16日(金) 役員会
- 3月16日(金) 同窓会総会案内発送作業

新執行部役員 (R1・R2年度)

- 会長 筒井 寛幸 (H4年卒)
- 副会長 佐々木辰雄 (S56年卒)
- 副会長 崎山 博資 (S58年卒)
- 庶務部長 江ノ上高之 (H17年卒)
- 庶務 鈴木あいこ (H17年卒)
- 庶務 飛野一路志 (H14年卒)
- 庶務 清水 大祐 (H6年卒)
- 庶務 輪島 里香 (H10年卒)
- 会計部長 枝村 大祐 (H18年卒)
- 会計 藤本 彰 (H18年卒)
- 監査 田中 裕也 (H15年卒)
- 監査 西根 央 (H17年卒)

ご挨拶



北海道柔道整復専門学校
同窓会 会長 筒井 寛幸

北柔専同窓会会員の皆様におかれましては、日頃より同窓会の運営に対しまして、ご理解とご協力を賜っておりますことに、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

昨年の総会において、会長に再任され2期目の一年も皆様のおかげでつつがなく運営ができましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。

さて、今年は58年振りに日本でオリンピックが開催されますが、思わぬ形で札幌がマラソン・競歩の会場となりました。いろいろありましたが、決まったからには世界が注目しますので、大会が成功して札幌で良かったと思ってもらえたら良いですね。

近年、学校の入学生の減少により、同窓会の運営も財政的にも厳しくなっていますが、これからも会員同士の交流と、学校の支援を柱として活動していく所存でありますので、会員の皆様におかれましては、ますますのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、会員皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げまして、同窓会報発行にあたってのご挨拶とさせていただきます。

特別講演会

演題 「 スポーツの頭・頸部損傷について 」

講師：星槎道都大学 客員教授 医学博士 黒川 泰任 先生

はじめにクラブ活動における頭部・頸部外傷の傾向や損傷部位別の割合のお話がありました。続いて、頭部打撲、脳震盪、脳挫傷、外傷性クモ膜下血腫、急性硬膜外血腫、急性硬膜下血腫の分類と特徴、頭蓋底骨折の重要性や特徴のお話がありました。頭部の回転損傷やcoupとcontrecoupなど新しいお話も聞くことができました。頭部講演だけで、1時間経過しましたが、会場の強い要望により引き続き頸部の講演も聞くことができました。

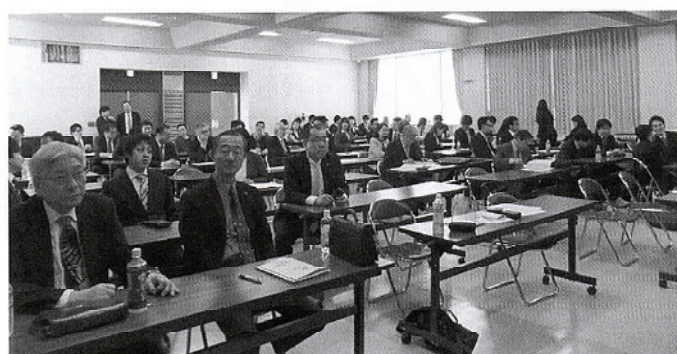


今回の講演で印象に残ったのが、おでこの打撲によって視束管骨折が起こり、失明の可能性があるということ、また、頭部外傷の場合は、損傷程度が軽微でも、見当識障害と覚醒障害をよく観察し、時には救急搬送が必要なことがあるといったお話でした。

最後に、黒川先生が、おすすめのホームページをご紹介します。海外のサイトですが、「CDC（アメリカ疾病予防センター）のサイトに、頭部や頸部の外傷についてとてもわかりやすく説明しているので、ぜひ一度見てください。」とのことでした。

私たちは、つつい治す事ばかり考えてしまいますが、頭部や頸部の外傷は、判断を誤ったばかりに、命にかかわったり、重度の後遺症を残すことがあるので、今回の特別講演も大変勉強になりました。

特別講演会終了後は、講師を囲み恒例の懇親会が、なごやかに行われました。北柔専を卒業した北整会員のみなさまも、ぜひ都合をつけてご参加ください。お待ちしております。



令和元年度新入会員の紹介

平成31年3月9日（土）の北海道柔道整復専門学校卒業式を終えて、新たに51名の会員を迎えることとなりましたので、ここにご紹介いたします。

同窓会会員一同、新入会員皆様のご活躍をお祈りいたします。



昼間部



夜間部



寄稿

「使命の道」

平成30年卒業 石川 麻美

「やわらの道に 生をうけ 人の命を守るため とうとき技を 伝えたる われら日整 仁に起つ」

この歌は、私が萩原整骨院に就職して間もない時に、会長から初めて「日整会歌」を聴かせていただきました。とても勇気あふれる歌です。会長は、毎日多忙にも関わらず、患者様に丁寧な施術と対応をされており、その姿勢を目の当たりにしては、心をわし掴みにされる思いです。

私が柔道整復師を志したのは、看護師として働いて20年目を迎えるころに、自分が目指すべきところが分からなくなった事がありました。それは、早期離床のケアをしていくなかで、転倒が医療事故につながるため、抑制せざるをえない現状が繰り返すなかで、「看護とは何ぞや」と問いただす毎日でした。ナイチンゲール看護研究所所長の金井氏も、「今の臨床では「安全第一」が叫ばれており、患者中心でなく、看護師中心の考え方がまかり通ってしまっています。この現実には看護師たちが「いのちの姿やしぐみ」について、看護の眼で学んでいない証拠です。」とはっきり言われています。

また、現代人はカーナビのように答えを誘導されており、楽な方へと考える傾向にあります。誰でもできる仕事はAIに切り替わる時代へと進んでいます。便利になった背景の裏に、人間の感情が稀薄になっている現象を常に、問題意識を持って向き合わなければなりません。正に私が看護で悩んだ時のように…。

柔整師資格取得後の、これからの使命は、もう迷わずにこの道をひた走るしかない、今は、必死で修行すべきと腹を括っております。10年後の目標は訪問看護も視野にいれた開業、細かな地域医療に貢献できる人材になることです。目標までに、向上心を絶えず、学びを深め、更に前へ、まずは目の前の患者様にやさしさと真心を持って、誠心誠意勤めることが目標です。

新卒の皆様、安直に時代に流されてはいけません。後続と継続は異なることを常に意識し、いかなる時も柔道伝承の技の原点に立ち返りましょう。そして自分だけではなく、和を重んじて同窓会や研修に参加して学びを深めましょう。明日の柔整師と自他共の成長の為に！

北柔専校から



ご挨拶

北海道柔道整復専門学校
校長 加藤 貞利

同窓生の皆様におかれましては、全国各地において主として柔道整復師としてご活躍のことと存じます。

伝統ある公益社団法人北海道柔道整復専門学校の校長に就任して早くも6年が経過しました。その間、私たち医療界を取り巻く情勢は年々厳しさを増して参りました。それに連れて柔道整復師を養成する教育環境も激変しております。

本校においてもカリキュラムの大きな変革が必要となりました。さらに、実務の面でも時代の変化に対応できなければ、学校そのものが存続できない状況になりつつあります。

直近の重要な課題は、学生数をいかに確保するかの問題です。

この問題は我が国の少子化問題を反映して、柔道整復専門学校ばかりではなく、各種学校に共通している喫緊の課題です。学校存続のためには一定数の学生の確保が必要な事は論を待ちません。

本校では学校の基本方針や教育に関する案件を討議する目的で、毎年数回にわたって教官会議を開催しております。最近では学校教育のあり方そのものが議題となることが多いのですが、教官会議に出席して強く感じることは、本校の教官の教育に対する熱意です。学生に対する愛情あふれる話を聞いていると、本校で学ぶ学生は本当に幸せであると思わざるを得ません。

先にも述べましたが、卒業生の皆様はすでに第一線でご活躍のことと思います。一方、私たち医療人は私たちを信頼してくれる患者さんのためにも、また私たち自身のためにも、日進月歩する医療技術や知識などの様々な情報を学び続けなければなりません。本校で身につけた『生涯教育』の精神を忘れずにこれからも精進していただきたいと願っています。

附属北海道柔道整復専門学校同窓会と同窓生の皆様のご発展をお祈りしています

クラブ活動報告

【柔道部】 主将 夜間部3年生 田中 郁弥



令和元年8月6日(火)に第52回(公社)全国柔道整復学校協会柔道大会が、東京武道館で行われ、本校は男子1部に出場しました。昨年は、1部で第3位の実績を残し、今年には更に上位を狙うべく一年間を過ごしてきました。しかし、7人制の試合に5人で臨まなければならない事態となり、最初から苦しい戦いを強いられました。初戦は、日本工学院八王子専門学校と戦い4対3で勝利し、続く関西健康科学専門学校との戦いは、3対4で惜敗でした。ただ、5名で戦ったことを思うと、我ながら健闘したと思っています。

北柔専同窓会の皆様におかれましては、今後も柔道部に対してご支援とご厚情をいただけますようお願い申し上げます。活動報告といたします。



【バスケットボール部】 キャプテン 昼間部2年生 加納 杏美

北柔専バスケットボール部は、教員である西巻英男先生のご協力のもとに、平成28年度に発足し、現在男子7名、女子7名で活動しています。今年度の成績は、私立専修学校大会において女子が4位、男子が1回戦敗退でした。また札幌市民大会では、女子2回戦敗退、男子1回戦敗退の結果でした。両大会ともに吉田英司先生がトレーナーとして帯同してくださいました。今年度の結果は残念でしたが部員全員が学業とバスケを両立させて、充実した学生生活を送るために頑張っていますので、応援していただけると嬉しいです。

行事スナップ



入学式



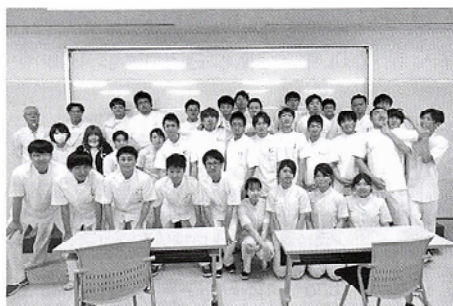
球技大会



バスケ部市民大会



柔道部全国大会



解剖見学実習



鎧開き式・お汁粉会

編集後記

最近、時間の進み方が加速度的に増しているように感じているのですが、皆さんはどうでしょうか？今、札幌で新型コロナウイルスの感染者が出たとの報道がありました。この会報が発行される頃には終息してほしいものです。

さて、加藤校長からのご挨拶にもありましたが、北柔専校は新カリキュラムへの対応や生徒不足により、大変厳しい運営となっております。それに伴い同窓会の運営にも影響が出ています。入学を希望する人がいましたら、是非ご紹介をお願いします。

同窓会会長 筒井 寛幸